

2017 年度 事業報告

1. 概観

2017 年度は、5 月に中期計画が完成し、設立 25 周年を迎える節目の年となりました。2017 年 11 月 18 日には「シーライツ設立 25 周年記念イベント」を実施。カンボジア事業では、現地 NGO「カンボジア子どもの権利保護センター（以下、CCPCR、Cambodian Center of the Protection of Children's Rights の略）」との連携による活動が始まりました。日本国内では中期計画をもとに、新たに子どもの権利条約を意識した子育て講座を始めるべく、そのパイロット版/試行版を実施しました。ユースグループの Youth for Rights（ユース・フォー・ライツ）も「チャイルド・ライツ・プロジェクト」を引き続き継続しました。

2017 年 11 月 18 日「シーライツ設立 25 周年記念イベント 子どもがあらゆる暴力から守られる社会をめざして～子どもとともに」を聖心女子大学グローバル共生研究所と共催。イベント前半のシンポジウムでは子どもに対する暴力におとなの世界の最前線で取り組む大谷美紀子弁護士、藤原志帆子氏、本田涼子氏の 3 名が登壇。「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」で活動する子どもたち、「東京シューレ」や「未来のための公共」で活動する子ども、若者も自分たちの経験、思いを様々に表現してくれました。後半の交流会にも多くの方がご参加いただき、総勢 100 名を超える方々とボランティアの方と共に、子どもに対する暴力とシーライツのこれからを考える機会をもちました。

カンボジアでは CCPCR と協働することで、これまで必ずしも十分な連携ができていなかった地域のおとなとの関係を深め、子どもにやさしい社会づくりのために、さらに連携を強めることが可能となりました。具体的には、小学校の先生と密に連絡をとり、学校でピア・エデュケーターを育成していくことができるようになりました。また、教員同士も連絡をとりあい、子どもにやさしい学校づくりや子どもの権利教育の授業について意見交換ができるようになりました。また、コミュニケーション評議会のメンバーや保健センター、警察なども連携し、子どもに有害なドラッグやギャンブルを共になくしていこうという会議を開催しました。ができました。2017 年 8 月に行ったワークショップでも、地域住民と子どもたちが共に、地域の子どもの権利実現の課題と今後の活動計画を考えました。

日本国内では、持続可能な開発目標（SDGs）の Goal 16.2 である「子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力を撲滅」達成へ寄与するという中期計画に基づき、子どもの権利条約を意識した子育て講座「子どもの権利に基づく子育て講座」（仮称）のパイロット版を 2 か所で実施。2018 年度の本格始動に向けて準備をすすめました。

また、「チャイルド・ライツ・プロジェクト」を中心的に推進する Youth for Rights の活動が 4 年目へ入り、各種イベントへの参加などを通じて子どもの権利普及を实践する若い世代の継続的な活動と育成に力を入れました。

子どもに対する暴力撤廃に向けてのアドボカシー活動として、「子どもに対する暴力撤廃日本フォーラム」という NGO ネットワークに参加し、外務省にはたらきかけました。

[事業]

カンボジア（継続事業）

- ▶ カンボジアにおける「子どもの人身売買・児童労働防止事業」を引き継ぐかたちで、第二フェーズの「子どもの権利促進プロジェクト」をベトナムの国境沿いにあるスバイリエン州のタナオ・コミュニケーション（集合村）で実施した。子どもたちが、ベトナムなどに出稼ぎや物乞いに出されることなく学校に通い続けられるようにするだけでなく、子どもが親や他のおとなから暴力に遭わない社会にするために、引き続き子どもから子ども・おとなへのピア・エデュケー

ションによる啓発活動を行った。

- 2016 年末に行った外部コンサルタントによる評価結果にもとづき、タナオの NGO 活動のマップング活動、および、ピアエドゥケーターたちが自分たちで仲間を増やしていくことができるようにピアエドゥケーターの役割を明確化し、文書化した。
- ピアエドゥケーター、学校の教員、地域住民とともに、地域の子どもの権利状況とどのような活動が必要かを考えた。
- 地域住民組織と協力して、コミュニティセンターの図書室・アクティビティルーム（あわせて「チャイルド・フレンドリー・スペース」）を運営管理し、子どもたちの学びとグループ活動をサポートした。

国内（新規事業）

- 2017 年 5 月より中期計画をもとにした国内事業を展開。「子どもの権利に基づく子育て講座」（仮称）のパイロット版をフリー・ザ・チルドレン・ジャパンとプラン・インターナショナル・ジャパンの 2 団体の協力を得て、同団体の職員向けに実施。2 団体で合計 6 回、毎回平均 10 名の参加者による講座へのフィードバックをもとに、講座開発をすすめた。
- 中期計画をもとに、講師派遣を実施。「子ども参加」を中心とした子どもの権利研修を児童労働に取り組む ACE にて実施した。
- 2017 年 11 月 18 日の設立 25 周年記念イベントを通じ、これまでシーライツを支えてくださっている支援者の方、関係団体、ボランティアとのつながりをより深める機会を創出。今後の国内事業を展開するうえで基盤となる「人」とのつながりを強化し、組織として向かうべき方向性を確認した。また、「子どもに対する暴力」が国際的なものから、日本にいる自分の身近にまで及ぶ課題であること、子どもも共にこの課題を考える当事者であることを、参加者に訴える機会をつくることができた。

国内（継続事業）

- Youth for Rights が中心となって「チャイルド・ライツ・プロジェクト」を継続した。国内外の子どもにかかわる問題や子ども参加の事例を学び、主に国内において子どもの権利の普及に努めた。またシーライツ設立 25 周年記念イベントにおいて事前準備への協力と、当日参加者に対する活動報告を行った。

[組織運営]

- デロイト トーマツ コンサルティングの協力を得て、組織・事業の中期計画策定の最終化を行った。（国内・4 月～5 月）
- 5 月に JANIC 立会いのもとアカウントビリティ・セルフチェック 2012 を実施し、認証マークを取得した。
- 大学生を中心とした Youth for Rights が、イベント出展などを企画し、運営した。
- 2 名のインターンを引き続き採用。国内外の活動や子どもの権利を広める広報の業務をサポートした。（国内・3 月～）
- 新規スタッフを雇用し、外部コンサルタントボランティアの協力を得て、より良い組織運営のためのアドバイスマーケティングを不定期に実施した（国内・5 月～）
- 新事務局長奥山桂子が任命された（国内・3 月～）

2. 開発途上地域の子どもの支援事業

(1) カンボジア・プロジェクト

<目的>

- ・ 子どもたちが「子どもの権利」や人身売買・児童労働の危険についての知識を身につけ、自分自身や周りの子どもたちを危険や子どもに対する暴力から守れるようになる。
- ・ 子どもたちが積極的に声を上げたり、意思決定の機会に参加したりすることで、子どもの視点が地域社会に取り入れられるようになる。
- ・ 次世代のリーダーが育成され、子どもたちの活動が地域住民のサポートによって継続されていく。
- ・ 子どもたちが継続して活動できるようにピア・エデュケーターの育成の仕組みを整備し、ピア・エデュケーターを支える教員を能力強化し、行政との連携関係強化をはかる。
- ・ CCPCR とタナオコミュニティの子どもたち、地元住民、教員、行政との協働活動によってピア・エデュケーションや子どもクラブなど子ども主体の活動の基盤を確立し、持続可能性を高める。図書館やチャイルドアクティビティルームからなるチャイルド・フレンドリー・スペースの運営について子どもの意見を取り入れ、運営能力を高める。

① タナオ・コミュニティにおける子どもの権利実現システムづくり

◇主な助成・寄付：WE21 ジャパン、NTT 労働組合西日本本部、サッポロ関連労働組合協議会、尚綱学院大学、ほか。

【概要】

子どもたちが出稼ぎや物乞いに出されることなく学校に通い続けられるよう、①子どもの代表による「ピア・エデュケーション（子どもから子どもへ知識や技術を広める）」、②各村での子どもたちのグループ化、③チャイルド・フレンドリー・スペースの運営、を通して、子どもたちや親、地域住民に対して「子どもの権利」特に子どもが暴力から守られる権利と教育を受ける権利の重要性を伝える啓発活動を推しすすめる。

啓発活動

タナオ・コミュニティでこれまで活動してきたピア・エデュケーターに加え、3つの小学校であらたに65名のピア・エデュケーター（子ども代表）が選出され、CCPCRの職員から子どもの権利についてのトレーニングを受け、各家庭や地域で子どもやおとなに学んだ知識を伝えた。

子ども同士が助け合い、互いに学んだり、地域を良くすることをめざし、タナオ・コミュニティの「子どもクラブ」では、ピア・エデュケーターもワークショップに参加し、子どもの権利について考えた。

チャイルド・フレンドリー・スペースの運営と子どもの活動

図書室とアクティビティルーム（あわせて「チャイルド・フレンドリー・スペース」）を地域住民が組織した「チャイルド・フレンドリー・スペース運営管理委員会」とシーライツが共同で運営・管理した。

読書の奨励のため新しい図書を購入、貸し出しを行ったり、委員会メンバーが子どもたちに読み聞かせを行ったりした。

子どもたちの勉強をサポートするため、図書室に参考書を設置し、アクティビティルームを自習スペースとしても提供した。

鍵となるおとなの能力強化

教員とコミュニティ評議会のメンバーを対象にCCPCRの職員から子どもの権利について研修を行いました。

ネットワーキングとモニタリング

コンポンロー郡の役所で行われる「子どもと女性の問題に取り組む郡コミュニケーション委員会 (DCWC)」の月例会議に参加し、郡のほかの地域の子どもの状況について情報収集した。

日本から理事・職員が現地に赴き、コミュニケーション評議会や他団体 (NGO) を訪問、活動について報告。情報交換をした。

【成果】

- チャイルド・フレンドリー・スペースが子どもたちにとって学んだり自由に過ごしたりできる重要な場として機能している。
- 子どもたちがチャイルド・フレンドリー・スペースで「子どもの権利」を学び、さまざまな活動 (ミーティングや研修、図書の貸し出し・読み聞かせ、文字の読み書きを教え合う、等) に参加することが、子どもたちの知識・自信の向上やエンパワーメントに結びついている。
- CCPCR のスタッフが学校の教員やコミュニケーション評議会メンバーとの会合やトレーニングなどを通して関係を強化し連携を深めている。その結果、責務履行者である教員や地域行政に携わるメンバーが、子どものサポートに積極的にかかわっている。

② モニタリング

◇ タナオ・コミュニケーション事業のモニタリング

- 2017年8月、甲斐田代表理事、岡島理事がタナオの事業のモニタリングに参加した。ピア・エドゥケーター、学校の教員、コミュニケーション評議会議員や農業協同組合メンバーを含む地域住民とともに子どもの権利侵害、その問題の原因、今後必要な活動について考えるワークショップを実施した。また、ピア・エドゥケーターと意見交換をした。
- 2018年2月、甲斐田代表理事と清水理事がモニタリングを行った。3つの小学校の教員とミーティングを実施したほか、ピア・エドゥケーターとワークショップをし、子どもの権利の理解度および活動への積極性をグループワークを通じて認識した

◇ シーライツが建設した学校のモニタリング

- 2月、2010年にスバイリエン州チャントリア郡に建設したプラサー小学校分校において、適切に教育活動が行われているかを視察した。学校に集まった校長先生、教員や児童から、ヒアリングをした。校庭に幼稚園と高学年の児童のために新たな教室の建設が始まっていた。

③ アドボカシー

カンボジア市民フォーラムを通じて、日本政府に対し、政治状況、人権状況が悪化しているなかで2018年の選挙支援を行うことに対して再検討するよう要望書を提出した。

(2) シーライツトレード・プロジェクト

【売上】

2017年度売上 15,250 円

主な販売実績

日付	販売方法	売上
9/30-10/1	グローバルフェスタ JAPAN2017	3,450 円
11/18	シーライツ設立 25 周年記念イベント	9,000 円

通年	ニュースレター、事務所	2,800 円
----	-------------	---------

【仕入】

シーライツ・パートナーNGO である、アフエシップ・フェアファッションで生産・販売されている商品を購入。

3. 開発途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

(1) 報告会・ワークショップ開催

① 報告会・ワークショップ等

日付	名称	会場	参加人数
10/20(金)	子どもの権利にもとづく国際協力とは何か～現在の活動を向上させる方法～	日本聖公会大阪聖パウロ教会（岡島、インターン久保田）	15 名

② 講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催
5/20(土)	カンボジア・プロジェクト報告	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン大和(神奈川)
5/29(月)	ACE スタッフ向け子どもの権利研修	甲斐田代表理事	ACE(東京)
9/25(月)	カンボジア・プロジェクト報告	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン全体(神奈川)
10/14	シャプラニール連続講座「学びカフェ」	甲斐田代表理事	シャプラニール(東京)
1/25(木)	世界青年の船「子どもの人権」コース履修者対象「アジアの子どもの権利実現の現状や課題」	シーライツスタッフ(奥山)	一般財団法人青少年国際交流推進センター(東京)
2/4(日)	グローバルセミナー2018「地域で育むグローバル市民 世界の課題(SDGs)と私たちの暮らし」開発途上国(活動地)の実態とその課題に取り組むC-Rightsの活動報告	南雲理事	グローバルセミナー実行委員会(埼玉)
2/13(火)	カンボジア・プロジェクト報告	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン全体(神奈川)

③ 訪問受入れ

日付	団体・学校名	対応者	内容
2/1(木)	東京女学館中学校 生徒 合計4名	Youth for Rights	「子どもの権利」ワークショップ 冊子制作
2/8(木)	カンボジア CCC メンバー	シーライツ事務局長	シーライツにおけるアカウ

	合計 3 名	代行 (園田)	ンタビリティ・セルフチェックの取り組み
--	--------	---------	---------------------

④ 外部への協力

日付	団体	担当	内容
随時	子どもに対する暴力撤廃日本フォーラム	アドバイザー (甲斐田)	日本政府に対するアドボカシー活動

(2) 広報

① 会報

プロジェクトや活動の状況の報告、子どもの権利を普及する目的で、会報 94、95、96 号を 350～400 部発行し、会員、寄付者、関係者などに配布した。

② 年次報告書

10 月に、2016 年度年次報告書を 400 部発行し、会員、寄付者、関係者に送付した。

③ ホームページ・ブログ

WEB を通じてシーライツの認知度を上げるため、現行ホームページの課題を検討した。SEO (検索エンジン最適化) 対策や SNS へのリンクをトップページに配置するなど、ホームページの改訂を進めた。

④ メルマガ

年間 3 回配信し、イベントの告知や参加者募集、キャンペーンの呼びかけを行った。

⑤ ツイッター、フェイスブック

シーライツの活動だけでなく、国内外の他団体の取り組みや子どもの現状、イベント告知、キャンペーンへの協力など発信した情報は多岐にわたった。

⑥ 執筆・投稿

発行日	掲載誌・掲載本	内容
2017年4月	『外国人の子ども白書 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』	第 10 章 国際人身売買と子ども 日本および海外の子どもの人身売買の状況
2017年6月	子どもの権利条約ネットワーク「ニューズレター書評『外国人の子ども白書』」	「外国人の子ども白書」の書評。(奥山)
2018年5月	2018年5月号「子どもの権利について」『キリスト教保育』	カンボジアの子どもに対する暴力と子どもの権利状況について。(甲斐田)
2018年7月 予定	『子ども NPO 白書 2018』	シーライツの活動内容を「子どものエンパワメント」を中心に報告。(奥山・甲斐田)

(3) 研究活動・出版・制作

- ① 子どもの権利とビジネスや人身売買に関するシンポジウムや研究会、出版事業に関連する研修などに参加した。

日付	名称・内容	会場
5/18 (木)	日本財団 CANPAN・NPO フォーラム NPO が本を出すということ～ファンを増やそう！！どんなことが、本になるの？～	日本財団 (東京)
9/13 (水)	NGO のための教材づくりセミナー 1 (研修会) ～NGO の開発教育教材を学ぶ～	富坂キリスト教センター (東京)

- ② 昨年度制作した子どもの権利カレンダーを支援者に配布した。

(4) イベント参加 (出展)

日付	名称・内容	会場
9/30 (土) -10/1 (日)	グローバルフェスタ JAPAN2011 シーライツトレード商品販売・活動紹介ブース、 飲食販売ブース出展	お台場センタープロムナード (東京)

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

国連子どもの権利条約の普及・促進事業

(1) シーライツ設立 25 周年記念イベント

日付	名称	会場	参加人数
11/18 (土)	シーライツ設立 25 周年記念イベント 子どもがあらゆる暴力から守られる社会をめざして~子どもとともに	聖心女子大学	約 120 名

聖心女子大学グローバル共生研究所との共催により実施。事前準備にはシーライツボランティア、Youth for Rights のメンバー、交流会実行委員、その他企業の協力を得ることができた。

【シンポジウム】

日本人で初めて国連子どもの権利委員会委員となられた弁護士の大谷美紀子さんの基調講演や、人身取引被害者サポートセンターライトハウス代表の藤原志帆子さん、臨床心理士の本田涼子さんの講演、シーライツ代表理事の甲斐田万智子を交えたパネルディスカッションを行った。

基調講演及び登壇者の方々から、持続可能な開発目標 (SDGs) で 2030 年までに撤廃することが掲げられた「子どもに対する暴力」がようやく国際社会で取り上げられるようになった経緯や、「子どもの性の商品化」という深刻な子どもへの暴力が国内にあるということ、「たたかない子育て」など子どもへの寄り添い方についての具体的な方法を参加者に伝えていただいた。続くパネルディスカッションでは、登壇者の 3 名に加え、シーライツ代表理事の甲斐田の 4 名で、「しつけのための体罰も暴力なのか」「インターネット上の子ども虐待は法律で取り締まれないのか」「子どもに対する暴力のための国際的な動きと日本国内の団体をつなげていくにはどのような工夫が必要か」という、会場からの質問に答えながら議論を深めた。

シンポジウム後半では、「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」、「東京シューレ」、「未来のための公共」の 3 団体から子ども・若者が登壇。子どもへの暴力について、自分たちの言葉と演奏で思いを伝えた。

【交流会】

シンポジウム後に同会場に併設されているカフェにて、交流会を開催。これまで長年にわたりシーライツを支え、共に活動してきてくださった各界の方々からリレー形式でメッセージをいただくと共に、日頃の活動を強化するための他団体とのネットワーク強化を図った。

(2) 子どもの権利を基盤とした子育て講座 (仮称) のパイロット版の実施

日付	名称	会場	参加人数
1/15 (月)	「4 回連続パイロット講習『子どもの権利条約』を意識した子育て法」NGO スタッフ対象の子育て講座パイロット版の実施	プラン・インターナショナル・ジャパン	延べ 53 人
1/22 (月)			
1/29 (月)			
2/5 (月)			

2/19 (月)	「2 回連続パイロット講習『子どもの権利条約』を意識した子育て法」NGO スタッフ対象の子育て講座パイロット版の実施	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	延べ 16 人
3/12 (月)			

事務局長代行（現シーライツ認定講師）の園田京子が NGO スタッフを対象とした「子どもの権利条約」を意識した子育て法についての連続講座（パイロット版）を実施した。計 2 団体で実施し、アンケート結果等をもとにさらに内容を充実させ、2018 年度の本格的な講座開催に向けた準備を整えた。

(3) チャイルド・ライツ・プロジェクト

「子どもの権利」や子どもを取り巻く社会の課題を国内で広め、協力者や支援者を拡大するため、また、この活動を担う若い世代を育成するための「チャイルド・ライツ・プロジェクト」を継続した。具体的には、大学生を中心としたボランティアメンバーからなるユースチーム「Youth for Rights」が学習会やイベント参加を通じて子どもの権利普及を行った。

(4) 子どもの権利条約フォーラム 2017in 信州

Youth for Rights メンバーがフォーラムに参加し、その内容をシーライツニュースレターにて報告した。

(5) 中学生と共に「子どもの権利」に関するメッセージ集を作成

2/1 (木) 東京女学館中学校のサービスラーニングを受け入れ、中学生に子どもの権利についてのワークショップを実施。ユースチームメンバーと中学生 4 名が子どもの権利条約に関するメッセージを作成。今回と、これまで実施した同内容の活動を通じてまとめたメッセージ集を作成した。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

(1) 国際・国内団体とのネットワーク事業

参加ネットワーク団体

- ・(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続 (甲斐田代表理事が理事を継続)
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続 (甲斐田代表理事が世話人として)
- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク継続 (運営委員として)
- ・NGO 非戦ネット
- ・SDGs 市民社会ネットワーク情報会員として新規参加

(2) 関係団体とのネットワーキング

日付	内容
4/17、5/15、 5/29、6/5、 6/19、8/10、 10/13-14、1/31	JANIC 常任理事会、総会、理事会、合宿参加 (甲斐田) プノンペンの CCC、NGO フォーラム訪問 (岡島、甲斐田)
4/15、 7/16 8/15、9/16 10/21、11/15 1/24、3/22	カンボジア市民フォーラム世話人会 (岡島、甲斐田) セミナー「カンボジア政治・人権状況—法整備支援—2018 年総選挙に向けて」 シンポジウム「カンボジアのいま」～1993 年 UNTAC 総選挙から 25 年、カンボジア和平を検証する～
4/25、6/27 (火)	CL-Net 主催 第 1 回 SDG8.7 に関する研究会 (甲斐田)、第 2 回 SDG8.7 に関する勉強会 「サプライチェーンの児童労働 —英国現代奴隷法と米国労働省の児

	童労働への取り組み」に参加（奥山、甲斐田）
7/2（土）	東洋大学「子どもにやさしいまちづくりの展開」シンポジウム（甲斐田）
9/2（土）	子どもの権利条約総合研究所 子どもの権利条約 NGO レポート連絡会議に参加（奥山）
12/7（木）	CL-Net 協力 ILO セミナー:児童労働のいまと SDG s 達成に向けて～私たちにできるアクション～に参加。（奥山）
10/24、12/19、1/12、2/26、3/30	子どもに対する暴力撤廃日本フォーラム（GPeVAC）ミーティング、および、外務省担当職員との会合（甲斐田）
2/6	Safer Internet Day シンポジウム@ユニセフハウス（甲斐田）
3/8（木）	東日本大震災子ども支援ネットワーク「第 17 回東日本大震災子ども支援意見交換会」参加。（奥山、甲斐田、園田）

その他、依頼や要請に随時対応。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

(1) 6 回理事会を開催。

4/23（月）	第 58 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：中期計画作成、アカウントビリティ・セルフチェック 2012 ほか
5/27（土）	第 59 回理事会 開催場所：アカデミー茗台 議題：事務局長の選任、講師派遣事業、設立 25 周年事業ほか
8/6（日）	第 60 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：25 周年記念事業、カンボジア事業体制ほか
10/7（土）	第 61 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：25 周年記念事業、規定変更の内容確認ほか
12/10（日）	第 62 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：中期計画の進捗、25 周年記念事業の報告ほか
3/3（土）	第 63 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：カンボジア事業の事業運営、新理事及び新事務局長選任ほか

(2) 各事務所の組織運営

東京事務所	事務局長、会計総務のスタッフ、ボランティアスタッフが事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報、シーライツトレード事業等）を分担。
カンボジア事務所	カンボジア人アシスタントスタッフ 1 名及び協働団体 CCPCR のスタッフ数名にて業務を遂行（2017 年 7 月まで）。その後は CCPCR スタッフにより運営

(3) 資金調達

① 助成金

[採択]

団体名・助成金名	金額	助成内容
子どもの人権連	10 万円	チャイルド・ライツ・プロジェクト

② 団体大口寄付（10 万円以上）

寄付者	金額	指定寄付内容
WE21 ジャパン各支部	197 万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
NTT 労働組合西日本本部	50 万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
サッポロ関連労働組合協議会	136,381 円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
尚綱学院大学	230,398 円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)

③ 会員

2017 年度会員総数 個人会員 94+団体会員 2

内訳

正会員合計 (前年比)	一般正会員	学生正会員	子ども正会員	
35 (13%減)	35	0	0	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	学生賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員* (口数)
61 (30%増)	47	12	0	2 (1 口)

・団体賛助（法人）会員は、特定非営利活動法人アユス仏教国際協力ネットワークと WE21 ジャパンちがさき

・2010 年 4 月より開始した正会員および賛助会員の会費の口座振替制度（年 1 回 4 月振替）。3 月末時点で登録者は 38 名。

④ マンスリーサポーター

2008 年に開始した毎月一口 1,000 円からの寄付金制度。3 月末時点で登録者は 95 名。（2017 年度は、3 名が解約し、4 名の新規申し込みがあった）

⑤ ファンドレイジング

ホームページのリニューアル実施によりマンスリーサポーターの呼びかけを強化。

シーライツ設立 25 周年記念イベントをきっかけにイベントパンフレットの公告掲載企業呼びかけ及び社員ボランティアの募集を実施。企業連携のきっかけを創出。

⑥ 社会起業家との連携

遠藤明子氏のパーソナルケアプロダクト「La Lumpini」の商品の売上の一部として 40,000 円がシーライツに寄付された。（株式会社レイジー・スーザン／グリーンスタンプ株式会社 協力）

⑦ その他

書き損じハガキ：250 枚

(4) 理事・職員研修

- ① 2017 年 5 月 11 日（木）「非営利組織の資金調達ハンドブック」出版記念セミナー～著者・徳永洋子さんに聞く！ファンドレイジングの物語～（日本財団 CANPAN・NPO フォーラム）へスタッフ奥山が参加。
- ② 2017 年 7 月 10 日（月）11 日（火）「NPO のための社会課題解決に組織に導くファンドレイ

ジング講座」にスタッフ奥山が参加。

- ③ 2017年8月6日(日) 子ども参加ガイドライン研修(講師:甲斐田万智子)を理事及びスタッフを対象に実施。
- ④ 2017年9月8日(月) 乙種防火管理講習にスタッフ奥山が参加。
- ⑤ 2018年1月15日~2018年夏まで実施予定「JICA NGO等提案型プログラム」 「海外活動」と「広報・ファンドレイジング」その両輪を駆動させるための研修」に甲斐田代表理事、渡邊理事、スタッフ奥山が参加。
- ⑥ 2018年1月24日(水) 会計税務個別相談(無料) 台東区ボランティア・地域活動サポートセンターに会計スタッフ藤岡が参加。
- ⑦ 2018年2月9日(金) NPO法人の決算対策講座(無料) 台東区ボランティア・地域活動サポートセンターに会計スタッフ藤岡が参加。
- ⑧ 2018年2月15日~18日「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2018 NPOの次世代リーダー育成プログラム」にスタッフ奥山が参加。

(5) 危機管理

「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいて理事・事務所職員に対するセクシュアルハラスメント防止の研修「世界からみた日本のジェンダー意識」(講師:濱田すみれ氏)を実施。

以上